

【評議員会議事録】

日 時：2009年9月15日（火）12：10～13：50

場 所：山口大学 吉田キャンパス 共通教育棟2F会議室

出席者：岡村，海部，郷田，柴田，須藤，渡部，家，坂田，杉山，谷口，筒井，舘山，望月，山田（以上14名）

書面表決状提出者：井上，中川，永田，池内，佐藤（以上5名）

欠席者：宮川（以上1名）

他に國枝理事長，渡邊副理事長，竹田・高田庶務理事，田代会計理事，本間年会理事，東條事務長，宮下次期事務長が出席した。

議事に先立って議長と署名人の選出がなされた。

議長：筒井亮

署名人：郷田直輝，谷口 義明

報 告

1. 前回議事録の確認

前回（2009年6月27日）の評議員会の議事録（資料1）についての確認がなされた。

2. 開催中の年会について

本間年会理事より目下開催中の秋季年会のこれまでの進行状況（公開講演会，2件の研究成果〔異常に明るいIa型超新星の発見，ミラ型星の観測による銀河中心までの距離の決定〕の記者会見と報道実績，現時点での参加者数，特別企画など）が報告された。公開講演会は110名の参加者があり，記者発表に対しては地元紙を中心に6紙に掲載されNHK-BSのニュースでも取り上げられた。

3. 今後の年会について

前日の理事会で，来年2010年の年会（広島大：3月24～27日，金沢大：9月22～24日）を担当する各開催地理事から準備の進捗状況の報告があったので，その内容を竹田庶務理事がまとめて述べた。いずれも特に大きな問題も無く順調に進んでいる。金沢での秋季年会（金沢大）は日程が大学の行事と重なる可能性が懸念されていたがほぼ予定通りになる見通し。それ以降は筑波大学（2011年春），東北大学（2011年秋），京都大学（2012年春），大分大学（2012年秋），と2012年まで確定している。

4. 「企画展」と「七ター斉講演会」について

国内を巡回中の企画展示会（上野～仙台に続いて現在新潟で開催中）のこれまでの入客状況などが國枝理事長より報告された。今年はその後名古屋～大阪と巡る予定だが，来年になっても希望する都市があれば延長して続けることも検討している。また柴田副理事長より7月上旬に行われた七ター斉講演会に関して入場者へのアンケートの結果も含めた総括の報告があった。（大変好評で成功だった。若い人が多く聴きに来てくれたのはよかった。）

5. 理事長公選制について

会員による選挙によって理事長を決めるという理事長公選制の制定に向けてここ数カ月間理事長・副理事長を中心に検討が続けられているが，選挙施行細則の試案（資料2）が國枝理事長から説明された。所信表明は必須にするか，立候補者以外への投票も有効とするか，得票が過半数なくても当選にするのか，得票数が同数の場合の処置も決めておかねばならない，立候補者が1人でも選挙をするのか，もし立候補者が出ない場合はどうするのか，再任に対する規定が必要だ，公選制の精神は広く候補者を募ることにあるので理事会や評議員会が候補者を推薦する（立候補がない場合）のはおかしい，そもそも（評議員選挙の実績から見て）1割に満たない投票率で有効な公選ができるのか，など様々な意見の交換があった。これらの声をも参考にして更に細則を改訂していく。

6. 天文学辞典について

「現代の天文学」の残り1巻が今年中に刊行される見通しがついて全巻完結が近づいた現在，総索引を兼ねた「天文学辞典」の刊行を計画していることが資料3に基づき百周年記念出版委員会の委員長でもある岡村氏から報告された。著者の了解を得る必要性があるのではないかと，「天文学辞典」という書名

は類似のものと紛らわしいのではないかと、などの意見が出たが、今はまだほんの企画の段階であり、こういった点はこれからもちろん対処・検討を進めていくとのこと。

7. 年会中会合情報の公開について

前回の評議員会で望月氏から提案された、年会中の委員会や研究連絡会等の各種団体の会合の情報（場所、時間）を次期年会から外部への公開の可否等の情報も加えてプログラムに記載できるようにする件について竹田庶務理事より進捗状況が報告された。年会実行委員会としてはこれを実施することにやぶさかではないそうだが、プログラム掲載のためには年会の3カ月前に申請してもらうことが必要になり、現行の3週間前から大きく前倒しされることが問題になる。したがって「基本的に受付開始はこれまでよりずっと早めることにして年会3カ月前までに申請されたものはプログラムに掲載されるが、それ以後に申請されたものも従来どおり3週間前までなら（プログラムには掲載されないが）受け付けることにする」、というやりかたで行く方向。ただし、学会内で行なわれている研究・社会活動を広く会員に知らしめ、交流を活発にするという導入の趣旨に鑑み、各団体はなるべく早期の申請をして会合情報をプログラムに掲載させることが望ましい。

8. IAU総会、学術会議、長期計画、について

海部氏より今夏にリオで行われたIAU総会の報告と次期総会に関する説明があった。IAUメンバーはすでに1万人を超えたがわが国は約600名で米仏に次ぐ世界第三位を占めている。海部氏はpresident electとなり、次期北京の総会でpresidentに選出される予定。総会での話題として、世界天文年の活動は世界的に大成功を収めていること、各国から基金を募って途上国の天文普及支援に力を入れていくこと、などが挙げられた。

続いて海部氏より学術会議からの報告として、大型計画についての今後の新たな方針に関する説明があった。まずいろいろな計画をリストアップしてできるものから実行するというものであり、この学術会議のマスタートプランに基づいて文科省がロードマップを作成する。さらに（本日欠席された佐藤評議員の代わりに）学術会議から提示された「天文学・宇宙物理学の展望と長期計画」案（140ページもの文書であるが広く意見を募っている）についての説明が海部氏からなされた。また、この大型計画の話題に関連して「最近朝日新聞にわが国がTMT計画に参加するという記事が掲載されたが、まだ正式には決まっていないことであるので誤解の無いように注意されたい」という指摘があった。

9. 男女共同参画について

男女共同参画委員をも兼ねる望月氏より、配付資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会より提示された第4期科学技術基本計画及び男女共同参画基本計画（第3次）への提言案について理事長と庶務理事、男女共同参画委員会で相談、検討した結果、付帯意見付きで承諾し、賛同学会として天文学会も名を連ねることとなった旨の報告があった。また、男女共同参画に関する話題として、「『女性研究者の比率を参考に人事採用するように』との指導があるが、女性研究者の数がどの年齢層でどれだけあるかなど個別分野の実情を理解せずに表面的な数にだけこだわって要求されるのは困る」との批判的な指摘があった。これに対しては「長期的な数値目標を持つこと自体は良いことである」、「いわゆるアフーマティブ・アクションは、首都（圏）か地方か、大学や個人でも立場ごとにいろいろな考え方があり、難しい問題である」などの意見が出された。天文学会としても天文分野での男女参画状況をこれからもっと調査していく予定である。

10. 会員名簿について

國枝理事長から、昨年発刊された会員名簿が（個人情報保護に配慮した結果）あまりに空白が目立つ無意味なものになったので会員からの厳しい声が出ていることもあり、一年後に迫った次回の名簿をどうするかの方針についてそろそろ準備を始めないといけなことが述べられ、前日の理事会で議論された内容（基本的に会員の所属先だけは個人情報というよりも公に近い情報なのでデフォルトで出さねばならないことについては意見が一致したが、それ以上の住所や電話番号については判断に迷っている）について説明された。これに対して、「恐れることなく、所属のみならず住所や電話番号もデフォルトでは掲載することにして、問い合わせに対して『これこれを出さないでくれ』とはっきり具体的に回答した人のみその項目を伏せることにすべきである、そうしないとまた同じことになる」との複数意見

が出された。再度検討してまた次の機会にも具体案を諮る予定。

11. PASJについて

國枝理事長からPASJに関する報告事項が簡単に述べられた。2008年のPASJのインパクトファクターが4.4に急上昇し（これまでは2.0から2.5の間だった）、A&Aをも上回ったことは喜ばしいニュースである。これは2007年に特集号が三つも出たことの効果があったのではないかと思われる。一方、つい最近うっかりしたミスでPASJ編集業務関係の内部文書がメーリングリストに流れてしまう事故があり、編集部を挙げて再発防止策を講じているところである。

12. その他

渡部氏から配付資料（世界天文年2009）に基づき、世界天文年の一般活動の経過報告をスライドを交えてこの後の秋季総会で行うことが簡単に述べられた。また國枝理事長から民間の各賞（朝日賞、井上賞、東レ賞など）に天文学会から候補者を推薦することが報告された。

議 題

1. 入会申し込み書式

来年度から正会員入会に際して現正会員1名の推薦を課するという方針に基づき、推薦人の欄を設けた新たな入会申請書式（資料4）が紹介され（付記事項の文言における若干の修正があるが）承認された。

〔次回の評議員会について〕

次回の評議員会は2010年1月下旬に行われる予定。

〔資料〕

資料1. 前回評議員会の議事録

資料2. 理事長公選制について

資料3. 天文学辞典について

資料4. 入会申込書の書式

（当日配付分）

a. 第4期科学技術基本計画及び男女共同参画基本計画（第3次）への提言に関して日本天文学会としての対応について（望月）

b. 世界天文年2009のパフレット（渡部）

2009年10月3日

議 長：筒井 亮

署名人：郷田 直輝

署名人：谷口 義明